

Cisco Call ManagerでのDevice Packの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Communications Manager(CUCM)にデバイスパックをインストールする手順について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CUCM
- セキュアFTP(SFTP)サーバ
- デバイスパックファイル (対応するバージョンのUnified Communication Manager)

CUCMバージョンでサポートされているデバイスを理解するには、次のリンクを参照してください。

- https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucm/compat/matrix/CMDP_BK_CCBDA741_00_cucm-device-package-compatibility-matrix/CMDP_BK_CCBDA741_00_cucm-device-package-compatibility-matrix_chapter_01.html
- https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucm/compat/matrix/CMDP_BK_CCBDA741_00_cucm-device-package-compatibility-matrix/CMDP_BK_CCBDA741_00_cucm-device-package-compatibility-matrix_chapter_00.html

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- CUCM
- SFTP サーバ
- デバイスパックファイル (対応するバージョンのUnified Communication Manager)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド

キュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

デバイスパックファイルは、Communications Managerに新しい機能をアップデートするためにインストールされます。また、エンドポイントでファームウェアをアップグレードすることもできます。ただし、追加の機能と機能を目的としてのみデバイスパックが更新されるシナリオがあり、クラスタ全体のファームウェアアップグレードを回避する必要があります。

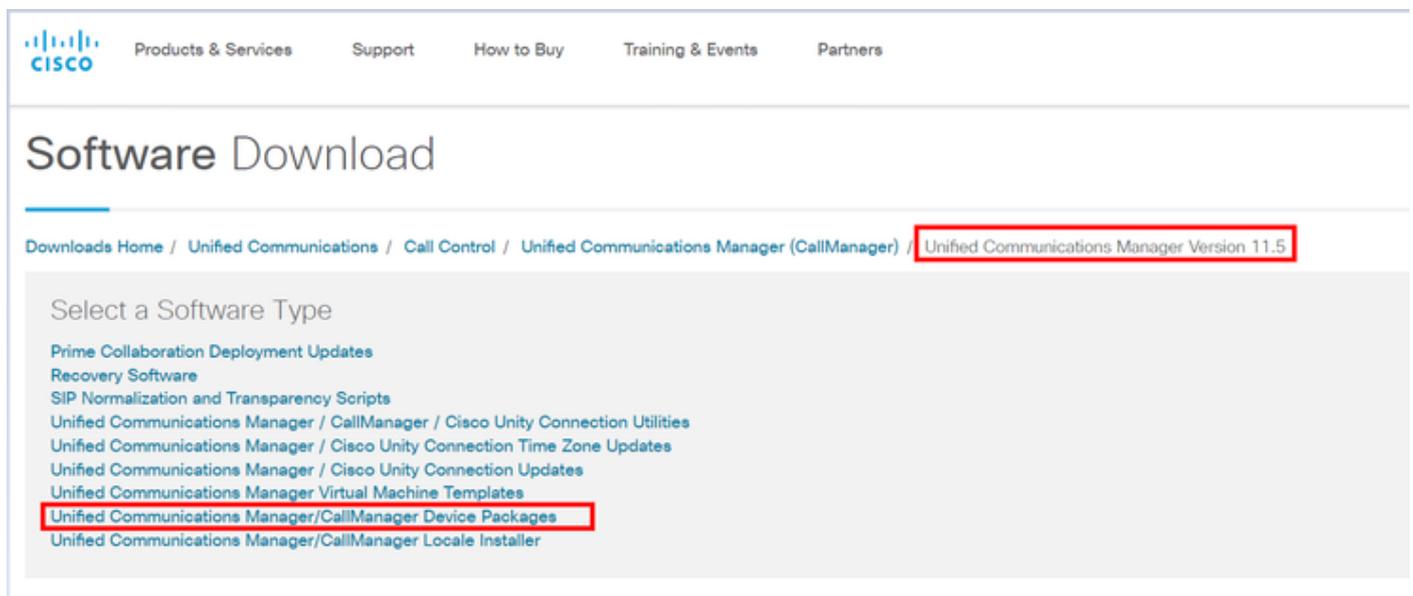
このドキュメントでは、クラスタ全体のファームウェアアップグレードを回避しながらデバイスパックをアップデートする手順について説明します。

設定

Cisco Webサイト（CUCMの各バージョン）からデバイスパックをダウンロードする必要があります。

図に示すように、このリンクを参照して、デバイスパック用にダウンロードするバージョンを選択します。

<https://software.cisco.com/download/home/268439621>



The screenshot shows the Cisco Software Download page. The breadcrumb navigation is: Downloads Home / Unified Communications / Call Control / Unified Communications Manager (CallManager) / Unified Communications Manager Version 11.5. Under the heading "Select a Software Type", the following options are listed:

- Prime Collaboration Deployment Updates
- Recovery Software
- SIP Normalization and Transparency Scripts
- Unified Communications Manager / CallManager / Cisco Unity Connection Utilities
- Unified Communications Manager / Cisco Unity Connection Time Zone Updates
- Unified Communications Manager / Cisco Unity Connection Updates
- Unified Communications Manager Virtual Machine Templates
- Unified Communications Manager/CallManager Device Packages**
- Unified Communications Manager/CallManager Locale Installer

Communication ManagerにDevice Packをインストールする前に、ファームウェアのバージョンを別のファイルにコピーする必要があります。

[Device] > [Device setting] > [Device default]に移動し、図に示すように、エンドポイントと同じファームウェアを保持するファームウェア情報をコピーします。

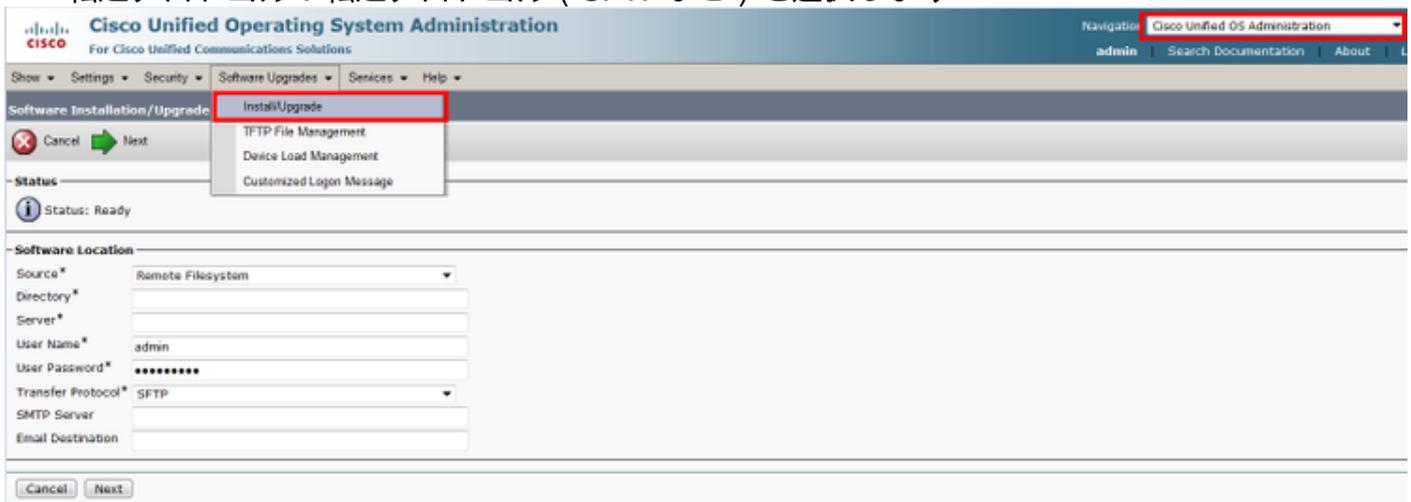
Device Type	Protocol	Load Information	Inactive Load Information	Device Pool	Phone Template
Cisco 7811	SIP	sip78xx.11-0-1-11		Default	Standard 7811 SIP
Cisco 7821	SIP	sip78xx.11-0-1-11		Default	Standard 7821 SIP
Cisco 7841	SIP	sip78xx.11-0-1-11		Default	Standard 7841 SIP
Cisco 7861	SIP	sip78xx.11-0-1-11		Default	Standard 7861 SIP
Cisco 8811	SIP	sip88xx.11-0-1-11		Default	Standard 8811 SIP
Cisco 8821	SIP	sip88xx.11-0-1-11		Default	Standard 8821 SIP
Cisco 8841	SIP	sip88xx.11-0-1-11		Default	Standard 8841 SIP
Cisco 8845	SIP	sip8845_65.11-0-1-11		Default	Standard 8845 SIP
Cisco 8851	SIP	sip88xx.11-0-1-11		Default	Standard 8851 SIP
Cisco 8851NR	SIP	sip88xx.11-0-1-11		Default	Standard 8851NR SIP
Cisco 8861	SIP	sip88xx.11-0-1-11		Default	Standard 8861 SIP
Cisco 8865	SIP	sip8845_65.11-0-1-11		Default	Standard 8865 SIP
Cisco 8961	SIP	sip8961.9-4-2SR2-2		Default	Standard 8961 SIP

シスコのWebサイトからデバイスパックをダウンロードしたら、SFTPサーバを使用してUnified Communication Mangerにファイルをアップロードする必要があります。

[OS admin page] > [Software Upgrade] > [Install/Upgrade]に移動します。

また、図に示すように、このページと必須情報を入力します

- 送信元：アップグレードファイルのローカルソース(CD/DVD)またはリモートソース (リモートファイルシステム) を選択します
- ディレクトリ:リモート・ ファイル・ システムの場合は、リモート・ システムのパッチ・ ファイルへのパスを入力します
- [Server]：リモートファイルシステムの場合は、FTPまたはSFTPサーバ名を入力します
- ユーザ名：リモートノードのユーザ名を入力します
- ユーザパスワード：リモートノードのパスワードを入力します
- 転送プロトコル：転送プロトコル (SFTPなど) を選択します



注：デバイスパッケージを適用して新しいデバイスサポートを有効にする場合、CUCMバージョン11.5(1)以降では、クラスタ全体のレポートは必要ありません。代わりに、デバイスパックを追加したら、CUCMで次の手順を実行します。

- すべてのノードでCisco Tomcatサービスを再起動します
- このサービスが実行されているすべてのサーバでCisco TFTPを再起動します

- ・パブリッシャでCisco CallManagerを再起動します。パブリッシャでCisco CallManagerサービスを実行していない場合は、この手順をスキップできます。

CUCMバージョン11.0(1)以前を使用する場合は、クラスタ全体のリポートが必要です。現在のファームウェアまたは設定を更新するためにデバイスパッケージを適用する場合、クラスタ全体のリポートは必要ありません

Device Packのインストールが完了したら、Device default Communication Managerにファームウェア情報を貼り付ける必要があります。[Device] > [Device Default] > [Endpoints]に移動し、同じファームウェアとしてエンドポイントに保存するファームウェア情報を貼り付け、アイコンをクリックしてエンドポイントのファームウェアをスワップします (図を参照)。

-Dual Bank Information-						
Device Type	Protocol	Load Information	Inactive Load Information	Device Pool	Phone Template	
 Cisco 7811	SIP	sip78xx.12-0-1ES-8	<input type="text" value="sip78xx.11-5-1SR1-1"/>	 Default ▼	Standard 7811 SIP ▼	
 Cisco 7821	SIP	sip78xx.12-0-1ES-8	<input type="text" value="sip78xx.11-5-1SR1-1"/>	 Default ▼	Standard 7821 SIP ▼	
 Cisco 7841	SIP	sip78xx.12-0-1ES-8	<input type="text" value="sip78xx.11-5-1SR1-1"/>	 Default ▼	Standard 7841 SIP ▼	
 Cisco 7861	SIP	sip78xx.12-0-1ES-8	<input type="text" value="sip78xx.11-5-1SR1-1"/>	 Default ▼	Standard 7861 SIP ▼	
 Cisco 8811	SIP	sip88xx.11-5-1-18	<input type="text"/>	 Default ▼	Standard 8811 SIP ▼	

click here to swap
firmware

確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

電話が新しいファームウェア イメージをコピーしたかどうかを確認するには、次のいずれかの手順を実行します。

- ・アップグレードが実行される IP Phone の IP アドレスを検出します。IP電話のデバイス情報を取得するには、ブラウザでIPアドレスを使用します。バージョンを参照して、ファームウェアが新しい情報に変更されているか確認します。
- ・物理的に IP Phone の [Settings] ボタンを押します。[Model Information] にスクロールダウンして、[Select] を押します。次に、[Load File] に移動して、アップグレードされるロードファイルと同じであるかどうかを確認します。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

トラブルシューティングセクションについては、別のドキュメントで説明します。